

DraftingCAD 6

for Windows

使ってみよう

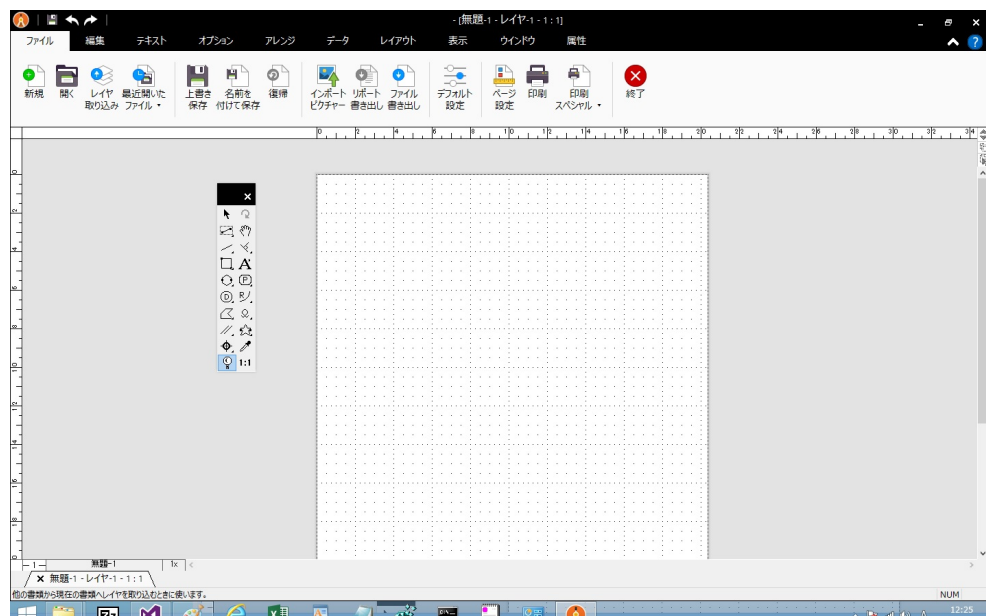


はじめに

このチュートリアルでドラフティングキャドの基本的な操作を練習できます。もっと詳しい情報は「説明書」にあります。

ドラフティングキャドの画面

ドラフティングキャドを起動すると下記の画面が表示されます。



尺度の設定

「レイアウト」リボンの「単位・尺度設定」をクリックすると下記のダイアログが表示されます。



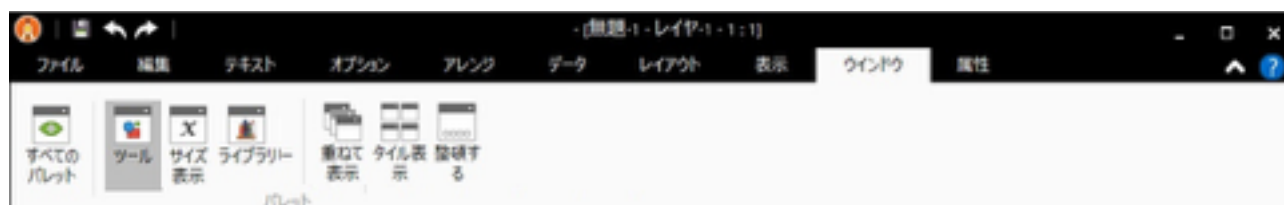
ここで単位と尺度を設定します。設定が終わりましたら「OK」をクリックします。

用紙設定

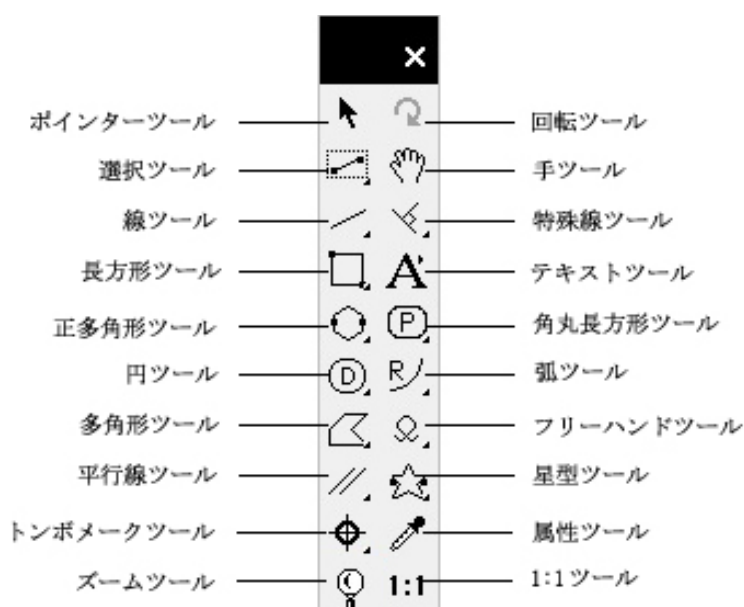
「ファイル」リボンの「ページ設定」アイコンをクリックして、ご使用の用紙サイズに設定して下さい。

図形を描く

図形を描くのに「ツール」パレットにあるツールを使います。「ツール」パレットが表示されていない場合は「ウインドウ」リボンの「ツール」アイコンをクリックすると表示されます。「ウインドウ」リボンのアイコンをクリックすることで色々なパレットを表示できます。やってみてください。



「ツール」パレットに色々な形の図形を描くためのツールがあります。



まず、四角形を描きましょう。「長方形」ツールを使います。



「長方形」ツールをクリックして、図面にマウスボタンを押したままでマウスをドラッグします。四角形が描かれます。



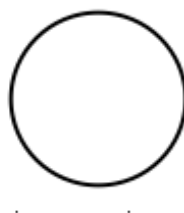
「shift」キーを押しながらマウスをドラッグすると正方形が描かれます。
(三角マークがあるツールにマウスを押し続けると他のツールが表示されます。例えば「長方形」ツールの場合は真ん中から四角形を描くツールが表示されます。)



次、円形を描きましょう。「円形」ツールを使います。



「円形」ツールをクリックして、図面にマウスボタンを押したままでマウスをドラッグします。円形が描かれます。



図形を動かす

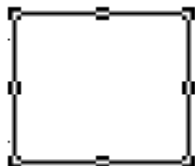
「ツール」パレットの「ポインター」ツールを選択してから図形をクリックします。



マウスボタンを押したままでマウスをドラッグすると図形と一緒に動きます。

図形の大きさを変更する

「ツール」パレットの「ポインター」ツールを選択してから図面にある図形をクリックして下さい。図形が選択され、小さくて黒い四角が周りに表示されます。これは「ハンドル」と言います。



ハンドルをマウスでドラッグすると図面の大きさを調整できます。

ツールのオプション

ツールパレットの一部のツール（回転ツール、正多角形ツールなど）を「option」キーを押しながらクリックするとそのツールの細かい設定できる「オプション」ダイアログが表示されます。

線の太さを設定する

「属性」リボンの「線の太さ」メニューを使って線の太さを設定できます。「ポインター」ツールを選択してから図面の図形をクリックしてから「属性」リボンの「線の太さ」メニューから太さを選びます。図面の境界線がその太さになります。



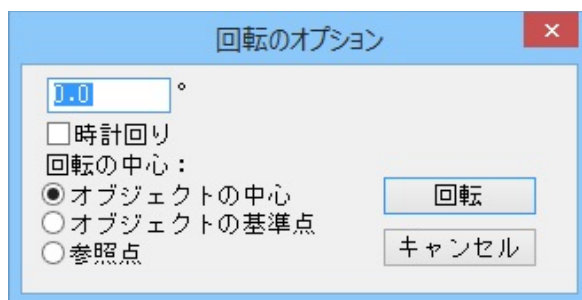
何も選択しないでラインの太さを設定すると、その設定がデフォルト設定になります。それから描く図形の境界線がその太さになります。

図形を回転させる

図形を回転させるときは「ツール」パレットの「回転」ツールを使います。

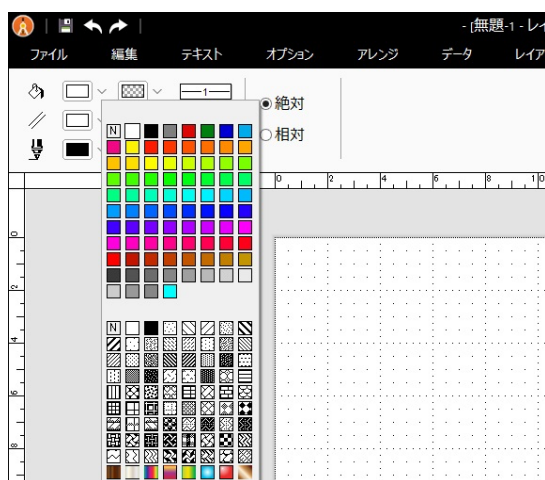


「ポインター」ツールを選択してから図形をクリックして、「回転」ツールを選択します。マウスポインターを図面に置いて、マウスボタンを押したままでマウスを動かします。選択されている図形が回転します。図形をクリックしてから「Alt」キーを押しながら「回転」ツールをクリックすると「回転」ツールのオプションダイアログが表示されます。



色と模様を付ける

「属性」リボンに図形、平行線と線に色と模様を付けるためのパレットを表示させるボタンがあります。



「ポインター」ツールを使って色を塗りたいオブジェクト（図形、平行線または線）を選択してそのオブジェクトの色・模様パレットを表示させるボタンをクリックします。パレットが表示されたら使いたい色・模様を選択します。

ファイルを保存するとそのファイルのすべての模様と色が一緒に保存されます。そのファイルをもう一度開くと模様と色が属性リボンの色と模様のパレットに表示されます。サンプルフォルダにある「庭と植物」というファイルを開いてみてください。色と模様のパレットにたくさんの色と模様が追加されます。

同じように、ライブラリパレットからオブジェクトを図面にドラッグするとそのオブジェクトの色または模様がパレットに追加されます。作成した模様を四角形などにつけて、その四角形をライブラリに保存することでいつでもその模様を使えるようになります。

テキストを入力する

テキストを入力するときは「ツール」パレットの「テキスト」ツールを使います。



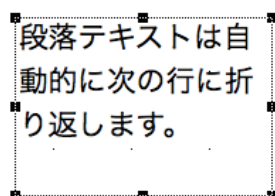
「テキスト」ツールを選択してからテキストを入力したい位置のマウスをクリックします。カーソルが点滅します。キーボードのキーを押すとテキストが入力されます。入力が終わったらポインター」ツールを使ってテキストを動かすことができます。また、「属性」リボンの線のための色パレットを使って色を付けることができます。

「テキスト」リボンのアイコンを使ってフォント、サイズ、行揃えなどを設定できます。

段落テキスト機能

「テキスト」ツールを選択してからマウスボタンを押したまま、長方形が適当なサイズになるまで斜め方向にドラッグし、マウスボタンを放します。カーソルが点滅します。キーボードのキーを押すとテキストが入力されます。

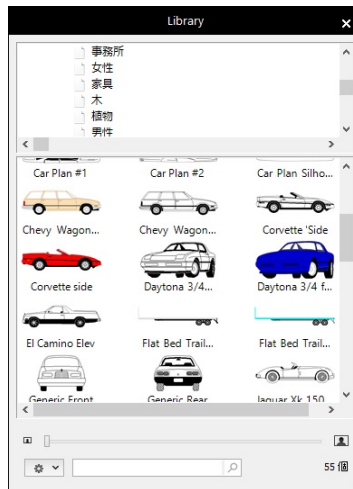
テキストが右端に達すると、文字は自動的に次の行に折り返します。



長方形の一番下までタイプすると、タイプしている行が常に見えるように、テキストがその矩形の中でスクロールします。

ライブラリを使う

「ウインドウ」リボンにある「ライブラリ」アイコンをクリックすると「ライブラリ」パレットが表示されます。



ウインドウの上にあるライブラリをクリックするとそのライブラリにあるオブジェクトが表示されます。フォルダをクリックするとそのフォルダにある全てのライブラリのオブジェクトが表示されます。

ライブラリのオブジェクトをマウスでドラッグすることで図面にコピーできます。「Alt」キーを押しながらドラッグすると元の大きさで表示されます。（尺度に合わせてリサイズされません。）

「Alt」キーを押しながら図面のオブジェクトを「ライブラリ」パレットにドラッグすると現在選択されているライブラリにコピーされます。

パレットの下にあるポップアップメニューを使って新規ライブラリを作成すること、既存のライブラリを開くことができます。

ライブラリのオブジェクトの下をクリックすると名前の追加、または編集ができます。

取り消しとやり直し

「ほとんどの作業の取り消しができます。ウインドウの上にある矢印マークを使って取り消し（左の矢印）とやり直し（右の矢印）ができます。取り消しは「ctrl」キー+「Z」でもできます。

